

に落ち入らしたと云ふ

其側には教言部補の派出所がある。現場には一人の若き巡査は立ったまゝ、之の現状を見てゐたと云ふ。

又多数の會社の僱員達は『ヨクヤツク』と言つて笑つて居たと云ふ。

一方昏倒したヤク女は既に脈薄を止め、手も足も冷たく顔面蒼白となつた。多くの婦人達は、『オホアア』と泣き乍ら無中になつて呼ぶ求めたが最早何の返事もなかつた。ヤク女は急激なる揺打並に昏倒、蹴る撲るのむごい仕打に倒から見ては『死んだ』ものと思ひ程意識を失つて仕舞つたのだ。

烈しき揺打を目前に見た婦人達は『可愛想にヤクさんは殺された』と

口々に呪の聲を發してゐた。

かゝる悲心痛を極めた中にも仲間を愛する多くの婦人の感情は益々反動的に激成され、無我無中に『一人殺すなら皆んな殺せ』と喚き叫ぶ声は奥深い山中に重響を響かした。

此報に接した一本松部落の人々は田舎女皆下り来り同じく彼女の周囲を取

りまき憤激措く処を知らず醫國師を呼ぶ／＼と云ふ声や、巡査は之れを見ながらなどと悲心痛を叫びか怒濤の如く叫ばれた。

争議団本部に第一回の傳令が来りつたのは此混沌の最中の状況を齎された。水も呑まぬ、脈もない。従つて傳令の報告は『一本松で會社の奴と土井ヤクが殺さ

不之思の出来事に激馬いたが争議団本部は直ちに之の言葉を以つて傳令を送つた。

『死んだなら其場から動かしはならぬ幹部も行くから手をつけるな』

### 争議團幹部の出勤と

第一回の傳令来りや直ちに角田聖警言察署に山口岸、金、西幹部は

かけつけ其旨快想を記した。敬言察署に山口岸、金、西幹部は

『昏倒したと云ふ報告に次いで蘇生した』との報告があつた。との竹間聖

な事であつた。

過ぎに争議中の諸事件につき當中に會社は陋劣なる手段を以つて其